

X-ICT2S3 L^AT_EX 日本語 Template

黒須太郎¹⁾, 黒須花子²⁾

1) 黒須大学クロスマネージメント学部
2) 黒須大学大学院総合クロス学科

概要: このファイルは、X-ICT2S3 研究会の予稿テンプレートです。300字以内で記載してください。

X-ICT2S3 L^AT_EX Japanese Template

Taro Kurosu¹⁾, Hanako Kurosu²⁾

1) Department of Cross Management, Kurosu University
2) Department of Interdisciplinary Cross Management, Graduate School, Kurosu University

Abstract: This is an “X-ICT2S3” template. Please write within 100 words.

1. はじめに

これは本文です。句読点は全角の「，」「。」を推奨します。見出しは章が中央、節が左(+3.7mm)で、番号は1. / 1.1の形式です。原稿作成目安として、A4判2段組み21字×40行×2段程度としており、ページの余白(マージン)は、上15mm下25mm、左右各20mm程度しております。詳細については、同梱されているReadme.txtをお読みください。

2. Overleafでの使用について

Overleafで使用する際は、XeLaTeXにコンパイルを切り替えた上で、.texファイルにてdocument-classのオプションを“overleaf”として指定してください。

```
\documentclass[overleaf]{xict2s3}

ローカルも同様に、XeLaTeXでのコンパイルを行っていただき、フォントの都合上、documentclassをオプションなしで以下のように設定してください。

\documentclass{xict2s3}
```

Overleaf上のテンプレートとして次の参考リンクを貼付いたします。<https://ja.overleaf.com/read/wsqkhxrskgry#61aa5b>

2.1 節の例

このようにHeading2相当で節番号が出力されます。

3. 図表と参考文献

図1や表1のように、図や表もcaptionof等を使用することで挿入できます。

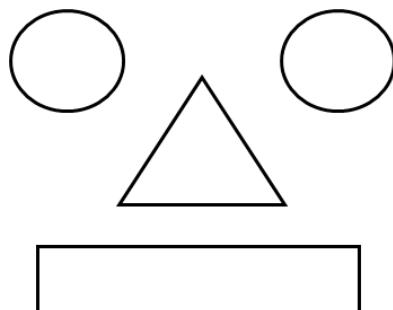


Figure 1: A descriptive caption for your figure.

Table 1: An example of a table description.

項目1	項目2	項目3
項目1	項目2	項目3
項目1	項目2	項目3

文献引用の例 [1].

参考文献

- [1] T. Kurosu, “History of Cross-Sectoral Information Exchange in the ICT Fields Towards Sustainable and Smart Society,” X-ICT 2S3 2024 Summer, pp. 20–23, 2024.